

令和6年度 東海東小学校 学校評価に係る評価書

評価の基準（4段階） 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

項目	観 点	自己 評価	観点 評価	総合 評価	運営委員コメント
進 ん で 学 ば う と す る 意 欲	①個別最適化と協働の学びを深める授業づくり （アウトプット、振り返りと習熟の時間の設定）	3	3.0	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・親を巻き込んで更なる学力の向上を期待します。 ・学力がついていない児童への個別対応 ・子ども達が主体的に対話を通して学び合う力を育んでほしい。 ・タブレットP Cにより学習への意欲が向上している。 ・インプットとアウトプットの両方を大事にしてほしい。 ・読み聞かせや本の掲示などで楽しく読書する機会が増やせるとよい。
	②I C T教育の推進 （学習意欲の喚起と個に応じた指導の展開：タブレットP Cの活用）	3	3.1		
	③読書活動の推進（知識の習得、感性や想像力の醸成と読む力の形成）	3	3.1		
	④少人数指導（算数）・専科指導（理科・外国語）・一部教科担任制（上学年）の導入、主題研究の推進	3	3.1		
思 い や り の 心	①「花いっぱい活動」の推進（責任感と思いやり、伝統の継承）	2	2.3	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい活動は時間を工夫してぜひ継続してほしい。 ・地域や保護者と連携して花いっぱい活動が充実するとよい。 ・個に応じた支援では、他機関との連携を図っている。 ・たくさんの体験活動を通して、自信や思いやりの心を育ててほしい。
	②特別支援教育の充実 （児童の困り感の解消と他者理解、関係機関との連携）	3	3.1		
	③体験活動の充実（自信と思いやり、感謝の気持ち）	2	2.9		
が ん ば り ぬ く 心 と 体	①体育科授業等での基礎体力づくり （運動量の確保・体力の二極化傾向への対応）	3	3.0	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・運動が苦手な子どもでも楽しめるような昼休みや授業の工夫を。 ・メディアコントロールが難しい家庭が増えているので、子ども達自身がルールを作って守っていただけるようなメディアコントロールができるとよい。 ・早起きに弱い子どもが多くいると感じるので、よい生活リズムを確立することが大事
	②「あきらめずに（耐）続ける（やり抜く）」力と心の育成	3	3.0		
	③メディアコントロール推進による生活リズムづくり	2	2.4		
地 域 と と も に あ る 学 校	①コミュニティ・スクールの充実（情報発信と熟議、協働の推進）	2	2.6	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域が連携していくことが大事。通信等での情報発信は有り難い。 ・保護者の協力によるキャリア教育の取組は素晴らしい。 ・伝統のばんば踊りを大切に伝承していただきたい。 ・行事等のオープン化により地域連携を図る工夫 ・地域とのつながりを大切にしてほしい。
	②キャリア教育の推進（魅力的な地域の大人との出会い～なぜ学ぶのか、何のために働くのか）	3	3.3		
	③地域との連携による子どもの安全の推進（水・人・車）	3	3.0		

総合評価	学校運営協議会委員 9 名より
○下校時、にぎやかに帰っていますが、時には児童の不調を見かけると、すぐに声をかけ、大人を呼びに来るなど、とても思いやりの心が育っているなぁと感じる場面が見受けられます。声をかける事はとても勇気が必要であり、判断力も必要です。学校外で勇気ある行動と判断力ある行動ができている東海東小の児童の成長がとても楽しみであり、期待しております。	
○学校の生徒や先生の行動を見ながら、教育に関して熱心に取り組まれており感心しました。	
○子ども達が元気よく活動できる授業や休み時間を望みます。	
○先生方の日々の努力に感謝します。	
○運動会で見せた子ども達の頑張りに感動いたしました。普段の学習の積み重ねがあの子ども達の姿に表れていると思いました。地域の学校として学校経営がますます充実したものになりますよう願っています。	
○学校と地域のつながりを大切に、又、子ども達の成長を温かく見守っていただいている先生達には感謝の言葉しか思いあたりません。様々な子ども・保護者がいる中、一生懸命に指導していただきありがとうございます。	
○以前に比べて、教職員も少なく、学校経営の全てを充実させることは可能でないと思う。以前はPTAの活動が大きく手助けしていたと感じる。ここ数年、その姿が見えない。先生、保護者、地域が同じ方向を見ることが必要なのでは。	
○学校運営協議会が数回開催される中で、授業参観の様子で、先生方の指導や子ども達の授業に臨む前向きな姿勢が窺われた。コロナ禍の5類移行、感染予防の対策に配慮しながら、学校迂遠栄や働き方改革の推進、学力向上推進や不登校児童、問題を抱えている子どもへの対応等々、校長先生、教頭先生を中心に先生方が一丸となって頑張っておられることに感謝です。	
○今年度のしゃべり場が中止となり残念でした。昨年度は先生方のお話を聞き、地域の関わり方について考えさせられました。日程の調整が難しいかとは思いますが、子ども達を地域全体で見守るための大切な場だと思しますので開催していただけますと幸いです。	

評価を受けての今後の改善方法

- 花いっぱい活動については、なかなか以前のように難しいが、花壇の場所や花植えの時期を工夫することで、学校運営に無理のない範囲で進めていきたい。
- メディアコントロールについては、大きな課題であるため、全校をあげて生活習慣の育成に取り組みながら、保護者に向けても学校保健委員会の講演会などで啓発していきたい。
- コミュニティスクールについては、今年度、地域の方を招いての「熟議」の機会が持てなかったのが、次年度はぜひ熟議の機会を設け、地域の安全・防災について話し合っていきたい。